

LIXILの太陽光発電
4つのメリット

ECO DESIGN!
SOLAR ENERGY

お得でグリーンで安心!
さまざまなメリットで
暮らしに余裕が生まれます。

メリット1
節約!!

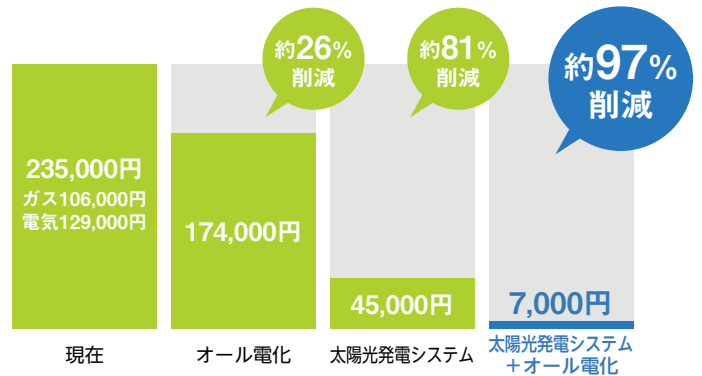
自然の力で
光熱費を節約します



太陽光発電システムを設置することで、ご家庭の光熱費を節約。また、ご家族皆さまの省エネ意識を高めることができます。

■現在の年間光熱費との比較イメージ(ガス+電気併用)※1

条件/東京地区4.95kWシステム(LX1A-275H:18枚設定)、南面、屋根傾斜6寸(約30°)設置



メリット2
お得!!

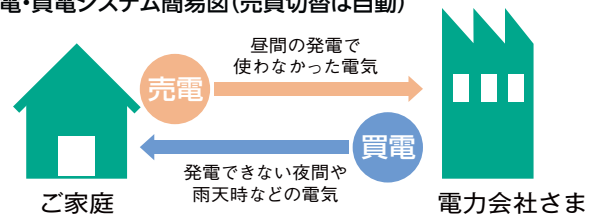
余った電気は
売電できます



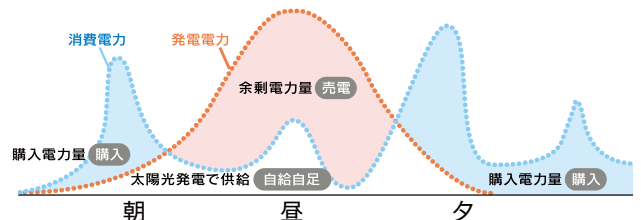
昼間に発電して余った電気は、電力会社さまへ自動的に売電されます。現行の「太陽光発電の買取制度」では、10年間にわたって余剰電力を固定金額で売電することができます。

※10kWを超える場合は、全量買取制度(20年固定金額)も選択できます。

■売電・買電システム簡易図(売買切替は自動)



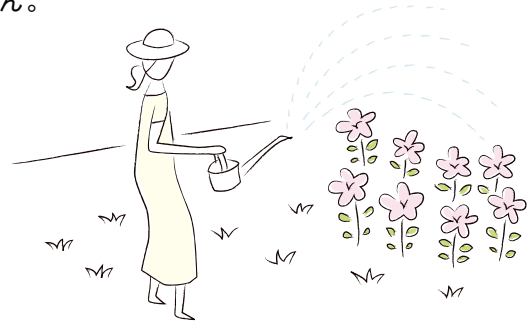
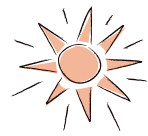
■晴天時、1日の発電と消費電力の推移



※1 本シミュレーション結果は条件をモデル化した目安であり、お客様の省エネ効果を保証するものではありません。
上記数値は以下の諸条件で算定したものです。○料金は東京電力(平成26年4月1日現在)・東京ガス(平成26年4月1日現在)の料金表から算出。オール電化後の電気代は電化上手、全電化住宅割引を適用 ○給湯器効率はエコキュート300%(日本電気工業会)、ガス85%(従来型:資源エネルギー庁省エネ性能カタログ)、調理機器効率は電気90%(メーカー算出値)ガス56%(メーカー算出値) ○給湯と厨房のガス使用量は給湯46.1(m³)、調理5.7(m³)で試算 ○電気使用は、昼間時間15%、朝晩時間46%、夜間時間39%と想定。エコキュートは夜間使用のみで想定 ○太陽光発電設置後、昼間の自家消費は電気ガス併用35.0%、オール電化44.6%とし、売電価格は37円/kWh(税込)で試算

家計にも自然にもうれしい太陽エネルギー

太陽光発電システムの大きなメリットは光熱費の節約や売電による収入です。
自然エネルギーならではのCO₂削減もちろん見逃せません。

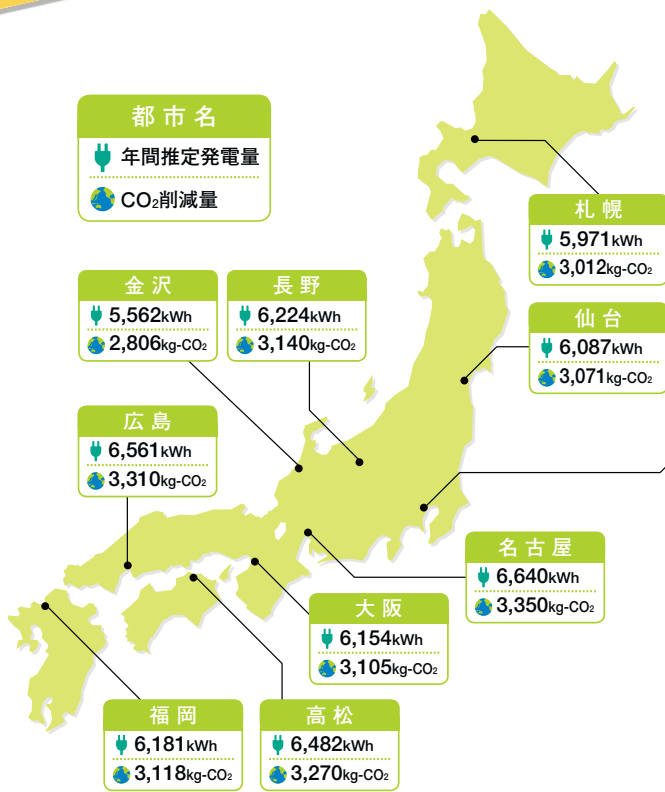


メリット3
エコ!!

地球温暖化 防止に貢献します

クリーンな太陽光エネルギーを使うことでCO₂を削減する効果も生まれます。お得なうえにエコにも貢献できます。

■全国地域別年間予測発電量&その換算値について※2
条件/4.95kWシステム(LX1A-275H:18枚設定)、南面、
屋根傾斜6寸(約30°)設置の場合
結晶系シリコンのCO₂削減効果:504.5g-CO₂/kWh

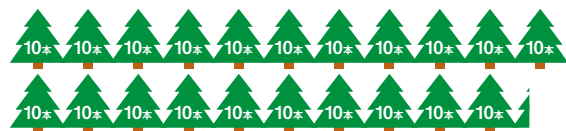


[東京の場合]

太陽光発電システムで
年間 **5,898kWh** の電気を発電

⇒

2,976kg-CO₂
のCO₂の削減効果



[スギの木約**213**本分相当のCO₂削減効果]
(スギ1本あたり1年間に約14kgのCO₂を吸収)

メリット4
保証!!

LIXILだから、 充実のシステム保証です

○カラーモニターは対象外です。 ○ソーラーパネルの出力について、商品そのもの問題で設置日から20年以内に当社規定値(詳しくはシステム保証期間の詳細をご覧ください)未満となる場合、ソーラーパネルの修理・交換をいたします。 ○故意、過失など保証できないケースがあります。くわしくは保証書をご確認ください。

20年保証 ■ソーラーパネル出力

太陽光発電システム
周辺機器
10年保証 ■ソーラーパネル
■パワーコンディショナ
■接続箱・ケーブル

詳しい保証内容は → **p.16**

※2 本シミュレーションは参考値であり、実際の発電量を保証するものではありません。
○発電量算定式:月別発電量(kWh)=太陽電池容量(kW)×月平均傾斜日射量(kWh/m²·day)×その月の日数×パワーコンディショナ変換効率×(1-温度損失)×(1-その他損失+その他係数)
○前提条件:パワーコンディショナ効率95.5%、素子温度上昇による損失(JPEA自主ルールに基づき 12~3月:10%、4~5月:15%、6~9月:20%、10~11月:15%)、その他の損失(配線、受光面の汚れ、回路ロス等による損失)-5% ○単結晶ソーラーパネル使用による補正係数を+2%(財団法人 新エネルギー財団「太陽光発電モニター事業等に関する調査(平成20年3月)」より適用)としています。ソーラーパネルの出荷時のポジティブレンズを見込んでいます。ソーラーパネルの低照度特性を考慮しています。 ○月別平均日射量データは、NEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)/財団法人気象協会「日射関連データの作成・調査」によります。 ○システムの「太陽電池容量」は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池ソーラーパネル出力の合計値です。実使用時の出力(発電電力)は、日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差、及び温度条件により異なります。温度等の補正係数やパワーコンディショナ損失などにより、発電電力は最大でも太陽電池容量の70~80%程度になります。引込み線の全長が40mを超えた場合、配線ロス等により、超過分10mあたり1%程度の発電量の低下につながる可能性があります。また、これら超過分のロスについて、各種シミュレーションには反映されません。